



九州北部豪雨災害からの復興を考えるシンポジウム 「災害に強い魅力的な地域づくり」を開催

概要

九州大学大学院芸術工学研究院では、平成 26 年 4 月 5 日（土）に、八女市役所黒木総合支所（福岡県八女市黒木町）において、九州北部豪雨災害からの復興を考えるシンポジウム「災害に強い魅力的な地域づくり」を開催します。本シンポジウムでは、特に地域の農林地景観、自助・公助だけでなく、互助・共助の果たした役割について、各地の復旧と復興における経緯と課題、そして、今後に向けて何が必要なのかを考えることを目的としています。

基調講演では、公益社団法人 中越防災安全推進機構 復興デザインセンターの稲垣文彦センター長をお迎えし、先進地事例をご報告いただくとともに、プログラムの後半にはパネルディスカッションを行い、災害に強いしなやかな農山村地域づくりについて、内容を深める機会になることを期待しています。

■背景

九州大学大学院芸術工学研究院は、平成 16 年度より福岡県八女郡黒木町（平成 22 年 2 月より八女市黒木町）と連携協力協定の覚書を締結し、地域資源（自然、生産物、歴史・文化、施設、人材等）を保全・活用した地域振興、環境保全、環境共生に資する教育・研究活動について連携協力活動を行っています。

平成 24 年 7 月に発生した九州北部豪雨により、八女市やうきは市の農山村地域は甚大な被害を受けました。今後、豪雨による災害の頻度は増加することも想定され、中山間地の回復可能性を高める新たな仕組みの確立は喫緊の課題であるといえます。

本研究院環境デザイン部門の朝廣和夫准教授は、共助による農林地の復旧支援を重要課題として取り上げ、八女市を対象とした「中山間地水害後の農林地復旧支援モデルに関する研究プロジェクト」を立ち上げました。本プロジェクトの目的は以下の 3 つです。

- ・中山間地の農林地被害の分布と災害ボランティアの活動分布、および被災規模の範囲を明らかにする。
- ・被災世帯について、被災前後の生活の変容、復旧の過程と課題を明らかにする。
- ・平常時からの備えとして、地域・NPO 連携型の農林地復旧支援モデルの構築を行う。

今回のシンポジウムは、本プロジェクトの一環として開催するものです。

なお、本プロジェクトは、独立行政法人 科学技術振興機構（JST）の社会技術研究開発センター（RISTEX）が、平成 24 年度に設定した戦略的創造研究推進事業「[コミュニティがつなぐ安全・安心な都市・地域の創造](#)」において、平成 24 年度課題として採択されました。

■内容

<九州北部豪雨災害からの復興を考えるシンポジウム「災害に強い魅力的な地域づくり」>

日 時：平成 26 年 4 月 5 日（土） 10:30～16:30（10:00 受付開始）

会 場：八女市役所黒木総合支所 大会議室（福岡県八女市黒木町今 1314 番地 1）

定 員：100 名（※申し込みは不要です。）

参加費：無料

プログラム：

10:30～ 開会あいさつ／八女市あいさつ

10:45～ 第 1 部 基調講演

「災害に強いしなやかな農山村地域をつくるには（仮題）」

稲垣文彦（公益社団法人 中越防災安全推進機構 復興デザインセンター長）

11：45～ コメントおよび質疑
 コメンテーター：包清博之（九州大学 大学院芸術工学研究院 教授）

12：15～13：30 休憩（昼休み） ※会場付近で写真展示を予定

13：30～ 第2部 事例発表
 「中山間地水害後の農林地復旧支援モデルに関する研究」
 朝廣和夫（九州大学 大学院芸術工学研究院 准教授）
 「黒木町笠原地区の被害と復興支援」
 小森耕太（山村塾事務局長）
 「星野村の被害と復興支援」
 山口聖一（星野村災害ボランティアセンター 代表）
 「うきは市姫治地区における被害と復興支援」
 熊懷真孝（うきは市役所 農林・商工観光課 山村振興係）

14：30～14：45 休憩

14：45～ 第3部 パネルディスカッション
 「災害に強いしなやかな農山村地域をつくるには」
 コーディネーター：谷 正和（九州大学 大学院芸術工学研究院 准教授）
 パネラー：山口聖一、熊懷真孝、小森耕太、稲垣文彦、朝廣和夫
 アドバイザー：RISTEX 領域アドバイザー 平田直
 （東京大学地震研究所 地震予知研究センター長・教授）

16：30 閉会

主 催：九州大学 大学院芸術工学研究院
共 催：山村塾、八女市、うきは市、星野村災害ボランティアセンター
後 援：夢かさほら自治運営協議会、JAふくおか八女、八女市社会福祉協議会、福岡県
 （申請中含む）

【参考】

- ・社会技術研究開発センター（RISTEX）の戦略的創造研究推進事業
「コミュニティがつなぐ安全・安心な都市・地域の創造」Web サイト
<http://www.ristex.jp/cr/index.html>

【お問い合わせ】

大学院芸術工学研究院 准教授 朝廣和夫
電話：092-553-4480
Mail：asahiro@design.kyushu-u.ac.jp

（上記連絡先不在時はこちらへ）

山村塾事務局
（平成24年度戦略的創造研究推進事業 連携団体）
電話：0943-42-4300
事務局携帯：080-8562-4558
Mail：info@sansonjuku.com

九州北部豪雨災害からの復興を考えるシンポジウム 「災害に強い魅力的な地域づくり」

平成24年7月九州北部豪雨により、八女市やうきは市の農山村地域は甚大な被害を受けました。本シンポジウムでは、特に、地域の農林地景観、自助・公助だけでなく、互助・共助の果たした役割について、各地の復旧と復興における経緯と課題、そして、今後に向けて何が必要なのかを考えることを目的とします。

基調講演では、公益社団法人 中越防災安全推進機構 復興デザインセンター長の稲垣氏をお迎えし、先進地事例をご報告いただく共に、後半のパネルディスカッションにおいて、災害に強いしなやかな農山村地域づくりについて、内容を深めたいと考えております。本会への皆様のご支援とご参加を賜りたく、よろしくお願いたします。

日時 平成26年 **4月5日(土) 10:30~16:30** (10:00受付)

会場 八女市黒木総合支所 大会議室
電話:0943-42-1111(代表)

定員 100名

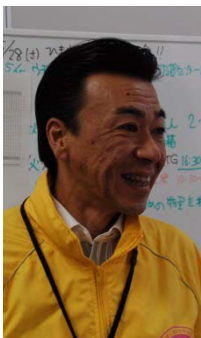
対象 八女市・うきは市の方々、災害ボランティア経験がある方、農山村や防災に興味を持つ方

参加費 無料 ※部分参加・飛び入り歓迎



基調講演概要

災害は社会のひずみを顕在化させる。2004年におきた新潟県中越大地震は中山間地域における過疎化・高齢化の課題を顕在化させた。この課題の本質は、この潜在的にあった課題に向き合っていなかった地域社会の姿勢にある。中越大地震からの復興では、積極的に外部人材を受入、外部者の鏡効果を活用し、住民の主体性を引き出し、住民が主体となった内発的復興の取り組みが進められている。中越大地震からの復興事例を通し、中山間地域における復興とは何かについて聴衆の皆さまと一緒に考えていきたい。



公益社団法人中越防災安全推進機構 復興デザインセンター長・ながおか市民協働センター長
稲垣 文彦 氏

2005年5月、中越復興市民会議を創設、事務局長に就任。現在は(公社)中越防災安全推進機構復興デザインセンター長として地域復興支援員の人材育成等に従事。また集落支援員や地域おこし協力隊等をネットワークする地域サポート人ネットワーク全国協議会の設立に尽力。中山間地域の過疎化、高齢化対策としての集落支援員・地域おこし協力隊、東日本大震災からの復興対策としての復興支援員の人材育成を担当。2012年4月よりながおか市民協働センター長に就任(兼務)。

◆主催：九州大学 大学院 芸術工学研究院 環境デザイン部門

◆共催：山村塾、八女市、うきは市、星野村災害ボランティアセンター

◆後援(依頼中含む)：夢かさばら自治運営協議会、JAふくおか八女、八女市社会福祉協議会、福岡県

※戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発センター)研究開発プログラム「コミュニティがつなぐ安全・安心な都市・地域の創造」による研究事業の一環としてこのシンポジウムを開催します。 <http://www.ristex.jp/cr/projects/h24.html?pj=2411>

中山間地水害後の農林地復旧支援モデルに関する研究 研究代表者：朝廣和夫(九州大学 大学院 芸術工学研究院 准教授)

九州北部豪雨災害からの復興を考えるシンポジウム「災害に強い魅力的な地域づくり」

日時:4月5日(土)10:30~16:30 (10:00受付) 会場:八女市黒木総合支所 大会議室

プログラム

10:30~	開会あいさつ 八女市あいさつ	15分
10:45~	第1部 基調講演 「災害に強いしなやかな農山村地域をつくるには(仮題)」 稲垣文彦 (公益社団法人 中越防災安全推進機構 復興デザインセンター長)	60分
11:45~	コメントおよび質疑 コメンテーター:包清博之(九州大学 大学院 芸術工学研究院 教授)	30分
12:15~13:30	昼休み ※会場付近で写真展示を予定	75分
13:30~	第2部 事例発表 「中山間地水害後の農林地復旧支援モデルに関する研究」 朝廣和夫 (九州大学 大学院 芸術工学研究院 准教授) 「黒木町笠原地区の被害と復興支援」 小森耕太 (山村塾事務局長) 「星野村の被害と復興支援」 山口聖一 (星野村災害ボランティアセンター 代表) 「うきは市姫治地区における被害と復興支援」 熊懷真孝 (うきは市役所 農林・商工観光課 山村振興係)	60分
14:30~14:45	休憩+質問・意見シートの回収	15分
14:45~	第3部 パネルディスカッション 「災害に強いしなやかな農山村地域をつくるには」 コーディネーター: 谷 正和(九州大学 大学院 芸術工学研究院 准教授) パネラー: 山口聖一、熊懷真孝、小森耕太、稲垣文彦、朝廣和夫 アドバイザー: RISTEX 領域アドバイザー 平田直 (東京大学地震研究所 地震予知研究センター長・教授)	105分
16:30~	閉会	

※敬称略

◆お問い合わせ先

九州大学 朝廣研究室

電話:092-553-4480 メール:asahiro@design.kyushu-u.ac.jp

山村塾事務局

電話:0943-42-4300 事務局携帯:080-8562-4558 メール:info@sansonjuku.com